

授業科目 NO. 504 成人看護学実習

Adult Nursing Practicum

授業の形態： 実習
単位数（時間数）： 6単位（270時間）
開講年次・学期： 3年次・前後期
必修・選択の別： 必修
キーワード： 成人看護、看護過程、周術期看護、慢性期看護、外来看護、緩和ケア、セルフケア

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② **看護学の知識と技術、及び実践力**
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

様々な健康段階にある成人を対象に個々の特性を深く理解し、個別性を尊重した看護実践能力を修得することを目標に、周術期と慢性期における健康障害の回復や維持のための看護実践について、病棟、中央診療部門や外来部門で系統的に学修する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 加療を必要とする患者の疾患、病態、心理社会面をアセスメントし、看護過程の展開ができる。(①②)
- (2) 周術期にある患者の手術侵襲を説明でき、術前・術後の身体を整えるための援助ができる。(①②)
- (3) 慢性的な経過をたどり、非可逆的な健康障害を有する患者に対し、健康の維持・増進を目指したセルフケア能力の獲得に向けた援助ができる。(①②)
- (4) 周術期・慢性期において緩和ケアを必要とする患者の全人的苦痛をアセスメントし、薬物・非薬物療法の原理を理解したうえで援助に活用できる。(①②)
- (5) 患者を取り巻く家族・キーパーソンへの必要な援助を説明できる。(①②)
- (6) 患者を取り巻く多職種連携の役割や連携のシステムを理解し、看護師の役割を説明できる。(②)
- (7) 治療を受けながら社会生活を営む患者や家族の心身の状態をアセスメントし、地域での社会資源の活用を考慮した援助を考えることができる。(①②③)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	100%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教 育 担 当 者

科目責任者 : 村角 直子

准 教 授 村角 直子 (成人看護学)
 准 教 授 清水 玲子 (成人看護学)
 准 教 授 北村 佳子 (成人看護学)
 講 師 浅野 きみ (成人看護学)
 助 教 長棟 瑞代 (成人看護学)

6 教 科 書

- 1) 小松浩子他 (編集) : 成人看護学 1 成人看護学総論、医学書院
- 2) 任和子 (編集) : 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術、医学書院

周術期看護実習

- 1) 林直子他 (編集) : 成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護、南江堂

慢性期看護実習

- 1) 鈴木久美他 (編集) : 成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える、南江堂
- 2) 宮下光令 (編集) : ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥緩和ケア、メディカ出版

7 推 薦 参 考 書

石川ふみよ他 (監修) : 疾患別看護の展開、学研

周術期看護実習

- 1) 竹内登美子 (編著) : 高齢者と成人の周術期看護 1.外来/病棟における術前看護、医歯薬出版
- 2) 竹内登美子 (編著) : 高齢者と成人の周術期看護 2.術中/術後の生体反応と急性期看護、医歯薬出版
- 3) 竹内登美子 (編著) : 高齢者と成人の周術期看護 3.開腹術/腹腔鏡下手術を受ける患者の看護、医歯薬出版

- 4) 竹内登美子（編著）：高齢者と成人の周術期看護 5.運動器疾患で手術を受ける患者の看護、医歯薬出版
- 5) 中村美智子（監修）：周術期看護、インターメディカ

慢性期看護実習

- 1) 日本糖尿病学会（編集）：糖尿病療養指導の手びき、改訂第4版、南江堂
- 2) 日本糖尿病学会（編著）：糖尿病治療ガイド、文光堂
- 3) 一般社団法人日本がん看護学会教育・研究活動委員会コアカリキュラムワーキング（編）：がん看護コアカリキュラム日本版 手術療法・薬物療法・放射線療法・緩和ケア、医学書院
- 4) 日本臨床腫瘍薬学会（監修）：改訂第6版がん化学療法レジメンハンドブック～治療現場で活かせる知識・注意点から服薬指導・副作用対策まで、羊土社
- 5) 数馬恵子（編集）：The 外来看護 時代を超えて求められる患者支援、日本看護協会出版会
- 6) 寺崎文生（監修）：実践 多職種連携教育、中外医学社

8 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

周術期看護実習

- 1) 「成人看護学概論」「成人看護学方法論Ⅰ」「成人看護学方法論Ⅱ」の周術期看護に関連する講義および演習内容を復習しておく。

慢性期看護実習

- 1) 「成人看護学概論」「成人看護学方法論Ⅰ」「成人看護学方法論Ⅱ」の慢性期看護に関連する講義および演習内容を復習しておく。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 実習記録について、毎日コメントする。
- 2) カンファレンス・反省会、評価表により、到達度や今後の課題をフィードバックする。

10 履修上の注意事項

- 1) 実習中は遅刻・欠席をしないように、体調管理に十分注意して臨むこと。
- 2) 疑問・質問は、なるべくその日のうちに教員・実習指導者に確認すること。
- 3) 実習後の評価と内省は十分行うこと。
- 4) 感染予防策に関しては、「看護学部臨地実習の要項」に準ずる。

11 オフィスアワー等

随時訪問は可能であるが、事前に都合を確認すること。

村角 murakado@kanazawa-med.ac.jp

清水 rshimizu@kanazawa-med.ac.jp

北村 kitamu@kanazawa-med.ac.jp

浅野 asanok@kanazawa-med.ac.jp

長棟 nmizuyo@kanazawa-med.ac.jp